

まつさか若者クラブ～MYC～ 市長への提案

氏名 山本 智子

私が感じる松阪の魅力もしくは課題

松阪は子育てしやすい！

●医療体制の充実

(大きな病院。夜間診療。医療ダイヤルなど案内経路が明確。小児科の待ち時間が少ない。)

●祖父母世代の育児協力が多い

(“商人の街・松阪”だからか3世代近居や、遠くても助けるのが当たり前と考える人が多いと感じる。)

私はこんな10年後の松阪に住みたい

移住してでもここで！と思えるストレスフリーな楽しい子育ての街

それに向けて提案します。

「情報提供」から「情報共有」へ。得意分野をシェア、双方向で活用してより良い支えを。

(メルカリ atte やジモティーのイメージ)

⊕子どもと1時間離れるだけで、信じられない位リフレッシュできるんです。

場所がない⇒ある！

パートナーの協力はあるが、週末や帰宅後に子どもを連れ出せる場所が無い。

●週末の支援センターOPEN

1、2か所が良い。遠くても車で行けるので。

●夜のキッズスペース

ワークセンターなど夜間OPEN 施設に併設。

マット敷きフリースペース程度で十分。

●空き家活用

⊕子育て中はなかなか予定が立てづらいんです。

イベントがない⇒生かす！

都市部で受けられる子ども向けスクールやプログラム体験など大手企業のイベントは名古屋止まり。

●地場産業を生かした体験見学を提供。

近所の〇〇さんの「田植え見れます」「いばら饅頭蒸します」

「芋ほりします」「河原の除草してます」

公民館のカルチャーサークルが見学可能。

見学だけで子どもは喜ぶ。そして、すぐ飽きる。見学可能なイベントをカレンダーでwebに。規約同意なども。

●「今なら行ける」と思った時に行ける

⊕ママが友人を作るのに、学生時代のような時間の使い方はできないんです。

会えない⇒会える！

同じ境遇・同じ悩みの人に会い辛い。

母子モ(三重)よかプリコ(四日市)のアプリは成長データ記録の面が強く、掲載情報もHPと同じもの。

●マッチングサイトの様にニーズが合う人と出会うまでの時間と距離を縮める。

親と同居で楽！の人もいれば、大変！という人も。

核家族でも地元で友人多い人もいれば、転居で孤独な人も。

⊕「今、ちょっとこっだけ手伝って貰えば何とかなるのに～」ってことが多いんです。

手が足りない⇒足る！

様々な事情でワンオペ育児中の人を支え合う。

●登録制の短時間のベビーシッターやシルバー人材の活用。

「30分500円」「自転車で10分」など事前登録、

「1時間以内で今から来れる人」etc ヘルプを互助。